

平成 29 年度 課題研究セミナー発表要領

■ 課題研究セミナーでの発表目的：

大学院では、大学院教育の質の向上、学位の質の保証及び学位の国際的通用性を求められている。課題研究セミナーでの発表は、大学院生の課題研究の成果発表会（中間発表）として位置づけるとともに、教員や他の大学院生とのディスカッションを通して、これまでの研究過程からの課題を見いだすとともに、今後の方向性を定めることを目的として実施する。

■ 発表のタイミング：

研究の初期準備段階ではなく、何らかの研究実績のあるもの
可能な限り学位課題研究として完成に近いもの
大学院生が、教員とのディスカッションをおこなえるレベルに達していること

■ 発表時期： 毎年 7 月 及び 10 月 （日程は、別途公表）

発表登録の手順 ※教員一覧 <http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/professors.html>

	内 容	流れ・方法等	7 月セミナー 日程	10 月セミナー 日程
1	発表申請・題目とコメンテーターの登録 「コメンテーター候補者」を指名(1名) ＊指導教員と相談のうえ、指導教員がコメンテーター候補者に連絡し、内諾を得る。その候補者を登録。 ＊発表登録前に必ずコメンテーター候補者と日程の調整を行う。 コメンテーター候補者： 学生が所属する教育研究分野以外の分野の医歯薬学総合研究科籍 又は 岡山大学病院籍 の助教以上の教員。 但し、岡山大学病院籍の助教以上の教員であっても本学大学院生は除く。	学生 → 大学院担当へ（メールにて） kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp	締切 5/19(金)	締切 8/18(金)
2	発表予定日時の決定	大学院担当 → 学生へ（メールにて）	5 月下旬	8 月下旬
3	抄録の登録 400～800 字程度 （英文の場合は A4 1 ページ程度）	学生 → 大学院担当へ（メールにて）	締切 6/16(金)	締切 9/22(金)
4	学務委員会からコメンテーター候補者への委嘱		7/4(火)	10/3(火)
5	抄録の HP 掲載		7/5(水)	10/4(水)
6	課題研究セミナーの実施			

※締切を過ぎた登録は、一切受付はできません。

発表当日の手順

	内 容
1	セミナー開始の 30 分前に、 各自のパソコンを会場へ持参し 、動作確認を行う。 ※ 事前の動作確認をおこなわず当日発表（プレゼンテーション）できなかった場合は、発表とカウントできない場合があるので、必ず動作確認をおこなうこと。
2	世話教員の進行によりセミナー開始・・・標準時間 20 分（発表 15 分、質疑応答 5 分） ※ 発表者の交替をスムーズに行うため、前者の発表後、直ちに発表が開始できるよう予定時間前から待機しておく。
3	自分の発表の順番まで、他の大学院生の発表を聴講しつつ待つ。
4	発表をおこない、質疑応答に対応する。 また、指名したコメンテーターからアドバイスを受ける。
5	終了後は、他の大学院生の発表を聴講する。

課題研究セミナーでの教職員の役割

1. 大学院生の指導教員：

- ・大学院生の研究の状況を考慮し、セミナー発表のタイミングについて指導を行う。
- ・大学院生がセミナーで発表する際の「コメンテーター候補者」（1名）の指名について相談を受け、「コメンテーター」になっていただきたい教員に依頼し、内諾を得る。

※「コメンテーター候補者」

学生が所属する教育研究分野以外の分野の医歯薬学総合研究科籍又は 岡山大学病院籍の助教以上の教員。但し、岡山大学病院籍の助教以上の教員であっても本学大学院生は除く。

「コメンテーター候補者」には、学務委員会から「コメンテーター」として委嘱する。

2. 世話教員

業務：当日の運営全般

- ・セミナーの進行を行い、活発な質疑応答になるよう配慮をおこなう。
- ・大学院生の発表後、コメンテーターよりコメントを受けるよう進行する。
- ・発表者の交替がスムーズにできるよう配慮をおこなう。

3. コメンテーター（大学院生の所属する教育研究分野以外の分野より指名）

大学院生及びその指導教員からの依頼を受け、学務委員会より委嘱されたコメンテーターは課題研究セミナーの会場にて当該大学院生の発表を聞き、その場にてコメント・アドバイスを行なう。

※ 指名を受け内諾した後、都合がつかなくなった場合は、コメンテーター教員が交代教員を指名し依頼する。

4. 研究科を構成する教育研究分野

教育 duty と考え、「セミナーを実施する単位」の教育研究分野からは、必ず1名以上の教員が出席することとする。